

令和3年度 LINE を活用したアンケート 調査結果

「スポーツ全般に係る調査について」

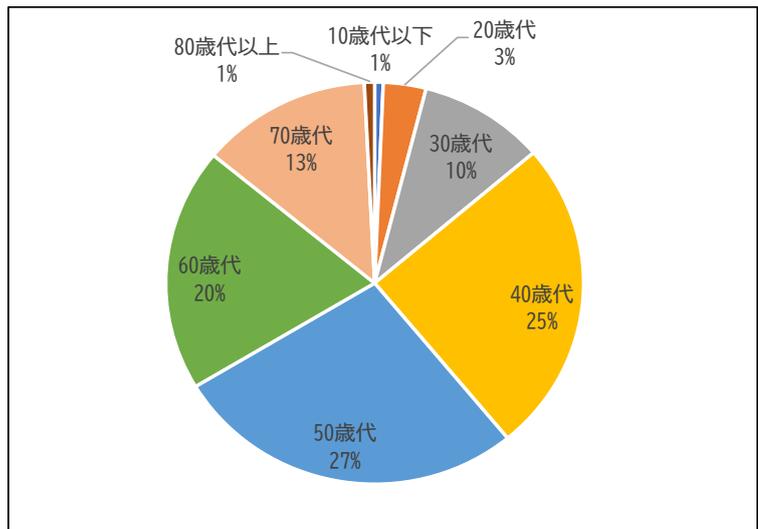
テーマ	市民の皆さまが運動やスポーツを実施する頻度について
目的	福島市は、スポーツによるまちづくりを推進するため、市民の皆さまが運動やスポーツに参画する機会を提供しております。市民の皆さまのスポーツ実施率や、市民の皆さまのスポーツ振興に関する意向をうかがったものです。

【調査期間】	令和3年12月13日（月）～12月28日（火）午前8時
【対象者数】	18,417名 (福島市公式LINE友達登録者のうち、受信設定が市内かつアンケート同意者)
【回答者数】	756名
【回答率】	4.1%

問1 年代を教えてください。

ア 10歳代以下	5名
イ 20歳代	25名
ウ 30歳代	74名
エ 40歳代	191名
オ 50歳代	207名
カ 60歳代	148名
キ 70歳代	100名
ク 80歳代以上	6名

〈回答者:756名〉



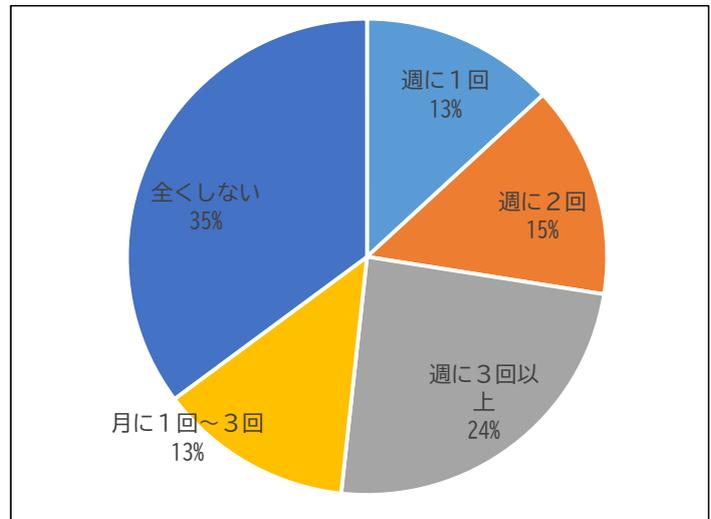
【スポーツ振興課】
今回のアンケートでは、30歳代～60歳代が全体の約80%を占めており、働き盛り世代の方から多くの回答を得ることができました。

問2

運動やスポーツを実施する頻度を教えてください。
(学校の体育の授業は除きます)

ア	週に1回	99名
イ	週に2回	109名
ウ	週に3回以上	183名
エ	月に1回~3回	99名
オ	全くしない	266名

〈回答者:756名〉

**【スポーツ振興課】**

週に1回以上スポーツを実施する方は、52%であり、約半数の方が、少なくとも週に1回は何らかの運動やスポーツを実施していることがわかりました。なお、令和3年度市政ネットモニターで11月に実施した際には、同じ設問に対して「しない」と回答した方が58%であり、今回の「しない」が35%と割合が違うことから、今回のアンケートについては、運動やスポーツにある程度関心がある方に回答していただいたと思われれます。

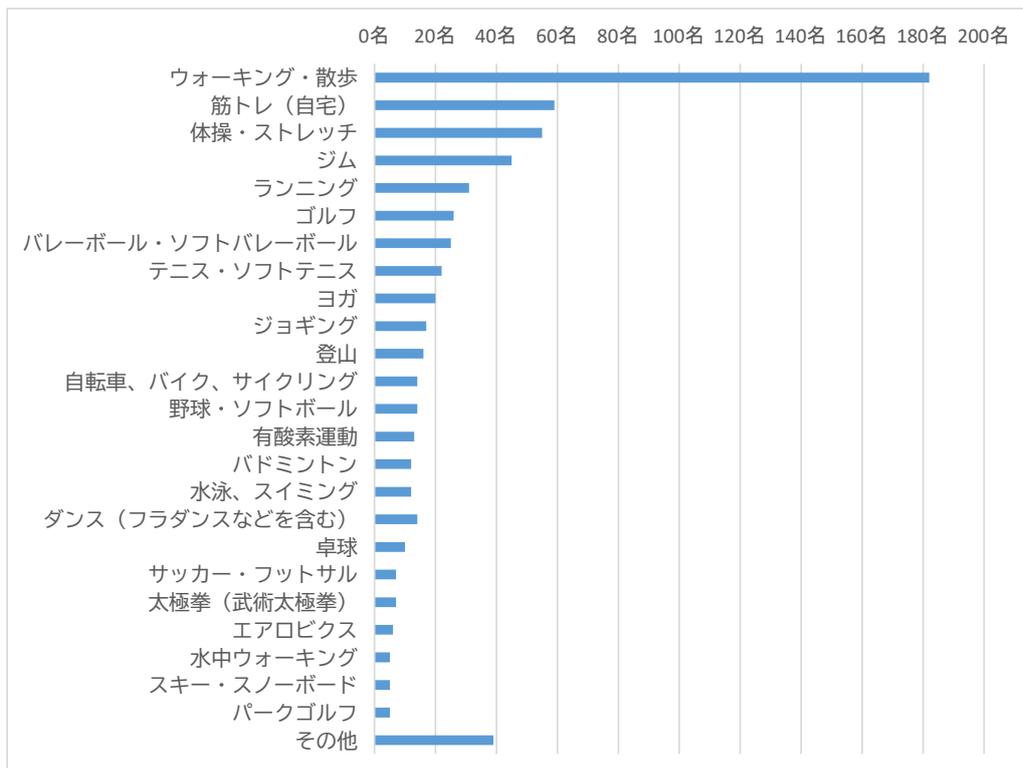
問3 主に実施している運動やスポーツを教えてください。（複数回答可）

ウォーキング・散歩	182名
筋トレ（自宅）	59名
体操・ストレッチ	55名
ジム	45名
ランニング	31名
ゴルフ	26名
バレーボール・ソフトバレーボール	25名
テニス・ソフトテニス	22名
ヨガ	20名
ジョギング	17名
登山	16名
自転車、バイク、サイクリング	14名
野球・ソフトボール	14名
有酸素運動	13名
バドミントン	12名
水泳、スイミング	12名
ダンス（フラダンスなどを含む）	14名
卓球	10名
サッカー・フットサル	7名
太極拳（武術太極拳）	7名
エアロビクス	6名
水中ウォーキング	5名
スキー・スノーボード	5名
パークゴルフ	5名
その他	39名

〈回答者:501名〉

（その他の主な競技）

「剣道」	3名
「ピラティス」	2名
「ボルダリング」	2名
「バスケットボール」	2名
「乗馬」	2名

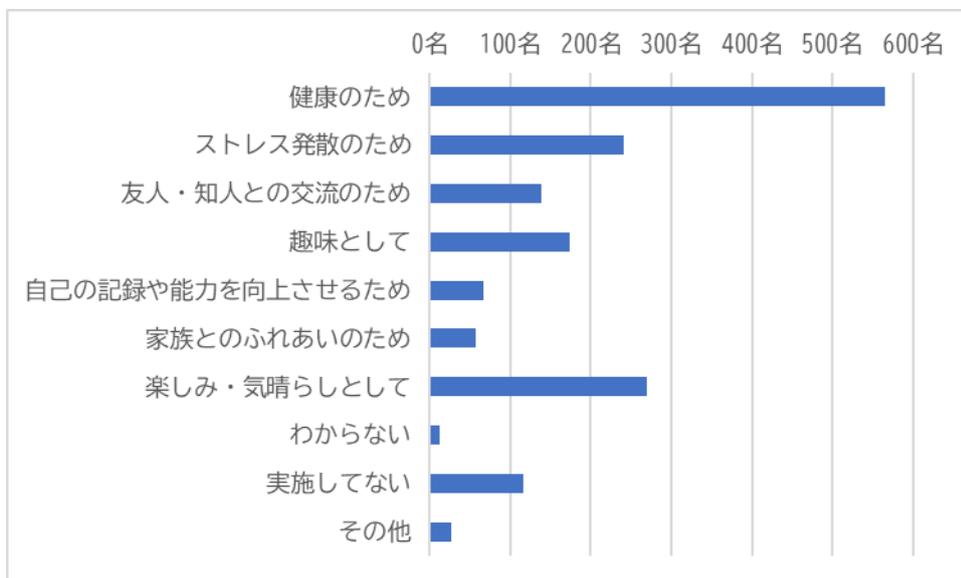


【スポーツ振興課】

主に実施している運動やスポーツの上位が、「ウォーキング・散歩」、「筋トレ（自宅）」、「体操・ストレッチ」「ランニング」であり、自宅や身近な場所で、気軽に運動・スポーツを行っているという方が多い結果となりました。

問4 運動やスポーツを実施する（実施しようとする）理由を3つまで教えてください。

ア 健康のため	566名	〈回答者:756名〉
イ ストレス発散のため	240名	
ウ 友人・知人との交流のため	138名	(その他の主な意見)
エ 趣味として	173名	
オ 自己の記録や能力を向上させるため	66名	「ダイエット」 8名
カ 家族とのふれあいのため	57名	「健康」 4名
キ 楽しみ・気晴らしとして	269名	「リハビリ」 3名
ク わからない	12名	
ケ 実施してない	116名	
コ その他	26名	



【スポーツ振興課】

回答者756名のうち、おおよそ75%の方が「健康のため」と回答しております。次に、「楽しみ・気晴らしとして」、「ストレス発散のため」となり、多くの方が身体や心の健康のために運動やスポーツを実施していることがわかります。

問5

どのような条件を整えば、運動やスポーツを行いたいと思いますか。
3つまで選択してください。

ア 天気	336名
イ 施設(会場の確保)	379名
ウ 時間	521名
エ 交通手段	77名
オ 費用	306名
カ 指導者	87名
キ 一緒に活動する仲間	201名
ク 行いたいと思わない	24名
ケ その他	31名

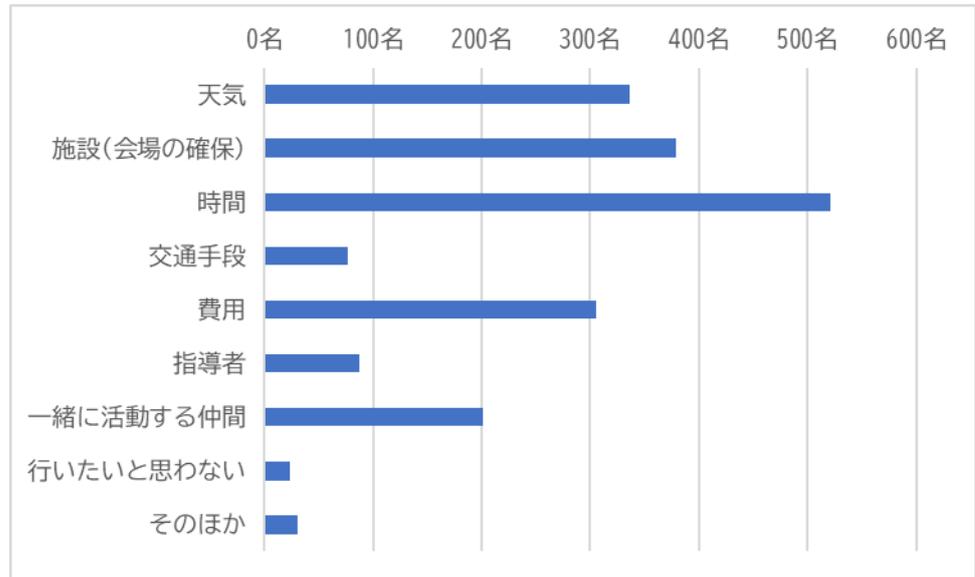
〈回答者:756名〉

(その他の主な意見)

「コロナ」 5名

「時間」 5名

「仕事」 2名



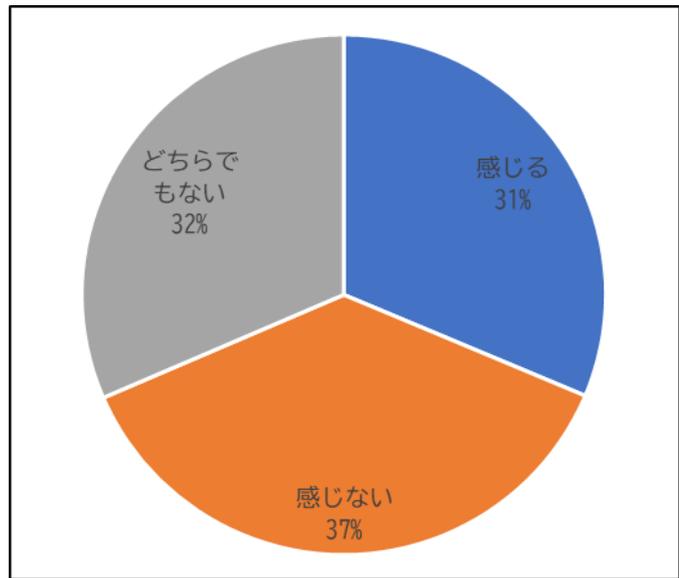
【スポーツ振興課】

「施設（会場の確保）」、「時間」と回答者の半数以上の方が回答しております。「時間」と回答する方が521名おり、月1回以上運動やスポーツを実施する方が490名いることから、運動やスポーツを日頃しない方でも、「時間」があれば実施したいと思っている方がいることがわかります。また、「施設（会場の確保）」と回答した方が379名と、約半数の方が施設を使用して運動やスポーツを実施していることがわかります。

問6 運動やスポーツを行う機会に恵まれていると感じますか。

ア 感じる	237名
イ 感じない	281名
ウ どちらでもない	238名

〈回答者:756名〉



【スポーツ振興課】

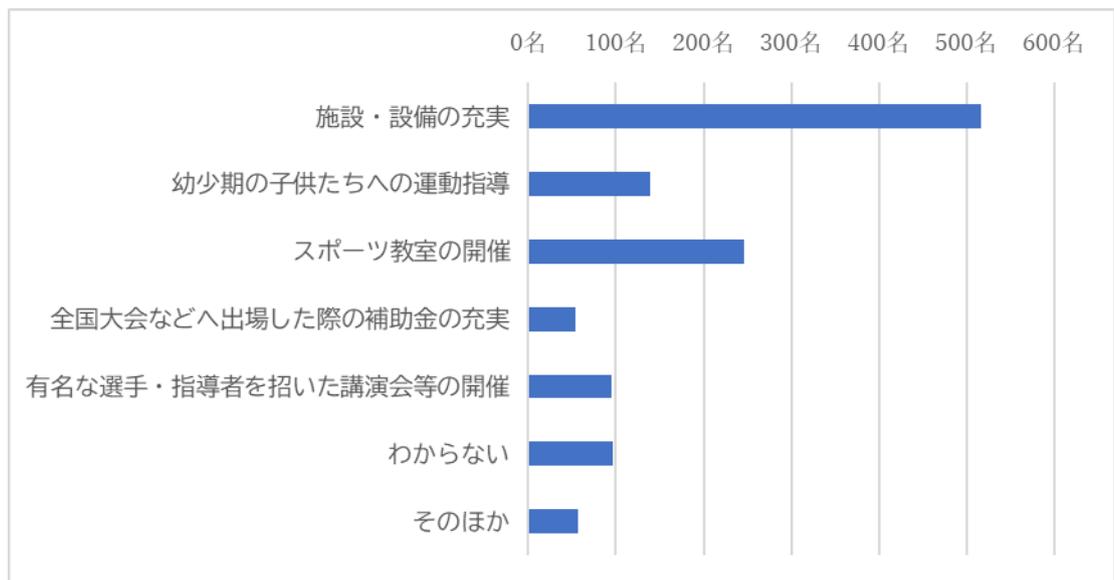
「感じる」「感じない」「どちらでもない」ともほぼ同じ割合でした。この結果から、運動やスポーツを行う機会に恵まれていると感じるか感じないかは、運動やスポーツを実施する頻度とは異なることがわかります。

なお、令和3年度市政ネットモニターで11月に実施した際には、同じ設問に対して「感じる」と回答した方が18%、「感じない」と回答した方が43%、「どちらでもない」と回答した方が39%でした。市政ネットモニターでのアンケート結果が、異なる内容となったため、引き続き、調査・検証を行ってまいります。

問7 今後期待するスポーツ振興策があれば2つまで教えてください。

ア	施設・設備の充実	516名	〈回答者:756名〉
イ	幼少期の子供たちへの運動指導	139名	「収入の増加と時間外労働の減少」
ウ	スポーツ教室の開催	246名	1名
エ	全国大会などへ出場した際の補助金の充実	54名	
オ	有名な選手・指導者を招いた講演会等の開催	95名	「デスクワーク者への運動指導」
カ	わからない	97名	1名
キ	そのほか	57名	

上記以外は未記入



【スポーツ振興課】

スポーツを実施している方が回答者の多くを占めているためか、「施設・設備の充実」と回答している方が、全体の約68%となりました。2番目に多い「スポーツ教室の開催」としている方が、全体の約32%であるため、「施設・設備の充実」を求めている方が、いかに多いか顕著となる結果でありました。

【スポーツ振興課まとめ】

《アンケートの目的》

今回のアンケートは、「福島市総合計画」に定めるスポーツを「する」「みる」「ささえる」という視点のもと、最も身近なスポーツを「する」に重きを置いて設問しました。特に、問6の「運動やスポーツを行う機会に恵まれていると感じますか。」という設問において、「感じる」と回答する方を、令和7年度に65%とすることを目標として本市のスポーツ振興に取り組んでおります。

また、令和3年11月に行った同内容の市政ネットモニター調査では、回答者が137名であったことから、今回の調査ではより多くの回答を得ることに重点を置き、アンケート調査を実施させていただきました。

《アンケート結果の分析》

問1から今回のアンケート調査の回答者は、30歳代～60歳代の方で回答者全体の約80%を占め、問4において、「健康のため」運動やスポーツを実施している方が多いことから、仕事をしながらも、健康を意識して、運動やスポーツを実施していることがわかります。

また、問5から運動やスポーツを行う条件として、1番多いのは「時間」、2番目は「施設（会場の確保）」であり、問7においても、「施設・設備の充実」を行政に期待しており、さらには問3において身近な場所で気軽にできるスポーツが上位になっていることから、より身近で気軽に運動やスポーツができる施設や設備の充実を図るとともに、「健康」をキーワードとしたスポーツ振興施策を実施することで、運動やスポーツを「する」機会の向上につながると推測されます。

《アンケート調査への御礼》

今回のLINEを活用した、アンケート調査においては、スマートフォンを所持している方が回答しやすい環境であったため、引き続き、様々な手段を活用して、アンケート調査などを実施していき、より効果的なスポーツ振興策を実施してまいります。

今後も、市民の皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、本市スポーツの振興を推進していきます。ご協力ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

福島市役所（〒960-8601 福島市五老内町3番1号）

《アンケート内容に関して》

福島市 市民・文化スポーツ部
文化スポーツ振興室 スポーツ振興課
電話 024-525-3786（直通）

《LINE アンケート制度に関して》

福島市政策調整部広聴広報課
電話 024-5263-7488（直通）